



那珂川市議会 会派

みらいえ nakagawa

2022
1

人とひとが変わるその先に!!

その先の未来へ

「みらいえ」は、一つ一つ色の違いを認め合う集団色（考え方）の違いを認めあいながら、その先の未来を目指す。

「みらいえ」は、色が交わり交差した時に一番良い色を探す色（考え方）は、交わり、交差することで全く異なる色となる。その異なった色の中から市民にとって一番良い色を見つけ合う。

「みらいえ」は、皆さまの未来に責任を持つ
那珂川市の未来を見つめ、赤ちゃんからご高齢の方まで笑顔で暮らせる提言を行い、未来に渡って誇れる那珂川市の未来絵を描く。



松尾 正貴

真鍋 昭洋

policy recommendations
政策提言

「2050年カーボンニュートラルに向けたクリーンエネルギー活用による政策提言書」を会派みらいえ が武末茂喜市長に提出

カーボンニュートラルとは？
温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。



皆さまの未来に責任を持つと約束する「みらいえ」は、令和3年11月30日に那珂川市役所において武末茂喜市長へ「2050年カーボンニュートラルに向けたクリーンエネルギー活用による政策提言書」を提出しました。
地球温暖化が進み、さまざまな自然災害が発生する現在、日本のみならず、全世界において温室効果ガス排出削減を目指し取り組んでおります。
本市は、面積の約70%を森林が占めており、その森林を適切に維持管理することで、地球温暖化の元となる、温室効果ガスである、炭素を吸収することが出来ます。
今回の政策提言書には、官民一体となった取組として、クリーンエネルギー導入における補助金の創設、電力調達のクリーンエネルギー比率の向上、本市に合ったクリーンエネルギー発電施設の導入検討を盛り込んでいます。

令和3年度にみらいえが行った住民要望の取組



【上梶原区 梶原川の増水による民地への土砂流入】



【別所区 林道からの雨水による法面崩落】



【後野区 早口川の増水による河川氾濫】



【道善区 那珂川の増水による護岸根露出】

私どもの居住地における要望事項は、常日頃からお聞きする機会が多く、その都度対応させて頂いております。
「みらいえ」は、お近くに議員が居ない地域の皆さまの要望なども、どのように汲み取り、改善するかを会派として協力して取り組んでおります。
日常生活における改善・要望もそうですが、豪雨災害発生時など、直接、皆さまからの要望を伺い、お住いの地域の区長様と一緒に土木申請書を作成し、状況写真と併せて、行政への要望・手続きのお手伝いを行っています。記載の取組は、令和3年度の一例です。

みらいえ 市政報告会

令和3年4月に会派「みらいえ」が発足され市政報告会を定期的に開催する準備を行ってまいりました。しかしながら、コロナ禍が落ち着く兆しも見えず、令和3年においては開催を見送ってまいりました。落ち着きを見せて来たため、令和4年2月下旬に開催を目指し検討しましたが新たにオミクロン株



【開催予定場所】
ミリカローデン那珂川
南畑地域の公民館

の流行も懸念されることから皆さま方の3回目のワクチン接種が一定数終わる、令和4年初夏には開催したいと考えております。

※開催をご希望される地域やご自宅、施設がありましたらご連絡下さい。



ズバリ聞く!一般質問!

まつお 松尾まさたか

飼い主のいない猫の不妊去勢費創設を求める!

問 『那珂川ねこネットワーク』も取り組んでいるTNR活動がある。TNR活動とは、保護(Trap)し、不妊・去勢措置(Neuter)を行い、保護した元の場所へ返す(Return)の意味を持つ。猫を保護(Trap)するには、多くのボランティアの協力が必要であり、不妊・去勢措置(Neuter)にはお金がかかる。那珂川市の飼い主のいない猫不妊去勢手術費補助事業の創設を求める。

答 事業の必要性について検討する。
 ※令和3年度版(R4.4~R7.3)の那珂川市総合計画 実施計画に飼い主のいない猫の不妊去勢手術助成事業(84万円/年)が3か年計画で盛り込まれました!

問 汗水流して小さな命を守ろうとボランティアにいそしむ『那珂川ねこネットワーク』などの団体や個人の方の思いと、迷惑扱いされながら一生懸命小さな命を守り生き抜いている人が作り出してしまった野良猫や野猫の気持ちだけはどうか汲み取って欲しい。
 最後に武末市長の見解、思いを聞きたい。

答 日頃より飼い主のいない猫の保護活動等、ボランティア活動に取り組んでいる市民の皆さまに心よりお礼申し上げます。市としても、県やボランティアの方々と連携を取りながら、市としてできることを取り組んでいく。



ズバリ聞く!一般質問!

あきひろ まなべ昭洋

9月議会

ヤングケアラーを早期発見できる体制の構築を!

問 家族の介護や兄弟の世話を日常的に担い、本来の学びの場を損なわれているヤングケアラーについて、市は実態を把握できているか。また家庭内の問題であり、実態が把握しにくいヤングケアラーの問題を関係機関や学校と密に連絡をとり対応していくことが必須で、子どもの権利が損なわれている対象の子どもたちを、市民の共通認識として4月に施行された子どもの権利条例と絡めて考えるべきではないか。

答 子どもからのサインを見逃さないように関連機関との連携を図ることで、実態把握に努め支援につなげる。ヤングケアラーとなる子どもを未然に防ぐことにもつながるので、引き続き子どもの権利条例の周知に取り組む。

スクールソーシャルワーカーの周知徹底を求める!

問 スクールソーシャルワーカーは不登校傾向にある生徒の、多岐にわたる諸問題に対応して支援を行っているが、今年度から1名増員したことで、より多くの児童生徒に細やかな対応が可能となっている。それと並行してスクールソーシャルワーカーの活動を、地域など関係者以外の多くの方々に周知を徹底し、早期発見につなげるべきではないか。

答 児童・生徒に関わる問題は学校だけで発見することは難しくスクールソーシャルワーカーをはじめ、子どもたちの支援に携わる方々に周知を図っていくとともに、「地域ぐるみの子育て」について呼びかけていく。



※令和3年度版(R4.4~R7.3)の那珂川市総合計画 実施計画にスクールソーシャルワーカーをさらに1名増員することが盛り込まれ、各中学校ブロックに1名ずつ配置することで、細やかな対応が可能となりました!

「那珂川市企業の誘致等に関する条例」の見直しを求める! 12月議会

問 新型コロナウイルス感染症により、市内の多くの中小企業も影響を受け、倒産に至らないまでも、内部留保が大幅に減少し、苦しい経営を余儀なくされている。融資を考える経営者も多いが、保証料補助がある市の融資制度からの融資を求める声がある一方で、他市の融資制度に比べ、貸付額、貸付期間等が見劣りし利用しづらいものとなっている。最低でも他市と同等の制度にするべきではないか。

答 現在のニーズや他自治体の情報を把握する必要があると考えている。本融資制度の周知、活用促進をしている那珂川市商工会からも十分な聞き取りを行ったうえで検討する。

問 本市における小規模企業の持続的発展のための施策について、企業誘致に着目する。企業誘致、新規開業は市場競争の促進、新市場や雇用の創出等、経済の活性化には持続的発展につながる。本市でも「那珂川市企業の誘致等に関する条例」が施行されているが、土地の少ない那珂川市

では指定基準のハードルが他市と比較して高いのではないかと。企業誘致による経済の活性化が本市の税収増に結びつき、市民の皆さまの福祉の向上につながる。今後を見据え、見直すべきところは順次見直す必要があると考える。小規模事業者の持続的発展を踏まえ、本市の企業誘致に対する市長の見解を伺いたい。

答 企業誘致は市内における産業の振興や税収増が期待でき、住民の働く場の創出できることから、引き続き取り組まなくてはならない。また、市内経済の発展については、市外からの企業誘致と市内企業への支援の両面が欠かせない。企業誘致に引き続き取り組みながら、市内企業の支援については調査研究を進めていく。



【ご意見・ご要望・お問い合わせ先】
 FAX: 951-2501
 miraie@sasuga.co.uk

【松尾まさたか】
 090-5928-4522
 那珂川市仲4-6-12

【まなべ昭洋】
 090-6425-7649
 那珂川市市ノ瀬935-1

那珂川市の未来を見つめる、ご提案、ご要望、ご相談などがありましたらお気軽にご連絡ください。
 一緒にあなたの思いを描く、那珂川市の **みらいえ** (未来絵) を描かせてください。